

「平成 29 年度旧上瀬谷通信施設返還跡地利用調査業務委託（その 1）」  
受託候補者特定に係る実施要領

（趣旨）

第 1 条 「平成 29 年度旧上瀬谷通信施設返還跡地利用調査業務委託（その 1）」の受託候補者をプロポーザル方式により特定する場合の手続き等については、横浜市委託に関するプロポーザル実施取扱要綱（以下「実施要綱」という。）に定めがあるもののほか、この実施要領に定めるものとする。

（実施の公表）

第 2 条 実施の公表にあたっては、実施要領、提案書作成要領、提案書評価基準及び業務説明資料により、次の各号に掲げる事項について明示するものとする。

- (1) 当該事業の概要・基本計画等
- (2) プロポーザルの手続き
- (3) プロポーザルの作成所及び記載上の留意事項
- (4) 評価委員会及び評価に関する事項
- (5) その他必要と認める事項

（提案書の内容）

第 3 条 提案書は、次の各号に掲げる事項について作成するものとし、様式などは別に定める。

- (1) 業務実績
- (2) 当該業務の実施方針
- (3) 当該業務に関する具体的な提案
- (4) その他当該業務に必要な事項

（評価）

第 4 条 プロポーザルを特定するための評価事項は、次に掲げる事項とする。

- (1) 調査対象地域の現状及び課題を把握しているか等
  - (2) 本業務の主旨・目的を理解し、「まちづくり検討組織の立ち上げ」という目標達成のための具体的な提案であるか等
  - (3) 本業務の主旨・目的を理解し、「跡地利用基本計画（素案）の策定」という目標達成のための具体的な提案であるか等
  - (4) 多面的な発想・視点を持った提案であるか等
  - (5) 取組意欲の感じられる提案であるか等
  - (6) 本業務への理解度及び専門技術力が適当であるか等
  - (7) 本業務の目的の実現性等
  - (8) 男女共同参画に関する取組をすすめているか
- 2 プロポーザルの評価にあたって、提案者にヒアリングを行うものとする。
- 3 提案書の内容及びヒアリング結果を基に、当該業務に最も適した者を特定する。

4 特定、非特定に関わらず、各々の提案者の評価結果については、その提案者に通知する。

(プロポーザル評価委員会)

第5条 評価委員会は、次の各号に定める事項について、その業務を行う。

- (1) 提案書の評価
- (2) 評価の着眼点、評価項目及びそのウエイト並びに評価基準の確認
- (3) 評価の集計及び報告
- (4) ヒアリング

2 評価委員会には委員長、副委員長及び委員を置き、次のとおりとする。

委員長	政策局総務部長
副委員長	政策局総務課長
委員	政策局政策課担当課長
	政策局基地対策課担当課長
	環境創造局政策課担当課長
	環境創造局農政推進課長

3 委員長に事故等があり、欠けたときには、副委員長がその職務を代理する。

4 評価委員会は、委員の5分の4以上の出席がなければ開くことができない。

5 委員長は、評価結果を政策局第2入札参加資格審査・指名業者選定委員会に報告するものとする。

(評価結果の審査)

第6条 選定委員会、評価委員会から評価結果の報告があったときは、選定委員会において、次の事項について審査する。

- (1) 評価委員の採点が適正に行われたこと。
- (2) 評価委員会の審議及び採点の集計等が適正に行われたこと。
- (3) 評価結果に関し、必要事項以外に公表する事項の選定
- (4) 特定、非特定結果通知書に記載する理由
- (5) その他必要な事項

附則

この要領は、平成29年2月9日から施行する。